

おち町

No 107

2014 (H26) 2/1

高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

横倉山に見守られ
2014年のスタート!

ぴったりロードレース1/19(4面参照)

12月定例会

平成25年度一般会計補正予算2億3215万円

3P 広域 救急無線のデジタル化

4P 学校給食調理場の用地購入 (議案質疑)

7P 町長選挙やバス運行など6人が問う (一般質問)

デジタル化

一般会計補正2億3215万円

12月定例会は、13日から17日まで開き、平成25年度一般会計補正予算など6件、条例の一部改正5件、基金条例制定など5件を全会一致で可決しました。

また、議員提案の「TPP交渉からの撤退を求める意見書」【5面に関連記事】など2意見書を全会一致で可決し、一般質問【7面から】は6人が町政全般について執行部をただしました。

平成25年度12月補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	2億3215万円	56億775万円	賛成全員
水道会計	264万円	4193万円	賛成全員
下水道特別会計	836万円	1億7911万円	賛成全員
国民健康保険特別会計	1513万円	8億8877万円	賛成全員
介護保険特別会計	468万円	10億8983万円	賛成全員
自然の森博物館特別会計	16万円	2628万円	賛成全員

広域 消防

救急無線の

Contents No.107 Feb 2014

- 03 広域消防
救急無線のデジタル化
- 04 議案質疑
学校給食調理場の用地購入
- 05 意見書
TPP 交渉からの撤退を
- 06 こんなことが決まったぜよ
林道桐見川白石川線等
管理組合の解散
- 07 一般質問
町長選挙やバス運行など
6人が問う
- 13 追跡!
指定ごみ袋をレジ袋のように
- 14 議会ですこんには
心とむ かご作り

消防救急デジタル無線事業

現在の消防無線は、佐川町・越知町・仁淀川町の3町で構成する高吾北消防本部を親局とし、消防署と各町消防団がアナログ方式で電波を共有している。

電波関係法令では平成28年5月末までにデジタル方式の無線機に変えることが求められている。また、大災害が起きた場合には混信に伴う弊害が発生することが予想されるため、消防署と各町消防団で共同運用するデジタル車載無線（10W）と各消防団等が使うアナログの携帯無線（1W）を配備する。

総事業費4億7944万円（千円以下四捨五入）

団体名	負担金額
佐川町	1億6715万円
越知町	1億1668万円
仁淀川町	1億8161万円
広域組合	1400万円
合計	4億7944万円

12月定例会では町長から提案のあった一般会計補正予算など16議案の疑問点をいただきました。

学校給食調理場の用地を購入

片岡(清) 学校給食共同調理場建設の用地購入の単価はいくらか。

高橋教育次長
1平方メートル当たり2万9400円で交渉中。予定面積は54平方メートル。



長さ27m、幅2mを購入予定

岡林農園 海外へ売り込み

武智 起業支援型地域雇用創造事業の委託費230万円は。事業内容

国貞産業建設課長 県の緊急雇用特例基金を財源として実施する。岡林農園が海外へ販路拡大するための新規雇用1人の人件費、保険料、オーストラリアのメルボルンと幕張メッセへの旅費、宿泊費等である。

カヌー、ラフティングの研修



仁淀川を生かして体験型観光を充実

武智 観光費の講師謝礼金28万円とメニュー開発研修補助金10万円の事業内容は。

小田企画課長 カヌー、ラフティングの冬場のオフシーズンに体験型観光のメニューを検討するため、講師への報償費とカヌー事業の先進地に出向いて実地研修を体験する際のガイド料。

中山間交付金 8万9000円返還
片岡(清) 中山間地域等直接支払交付金返還の内容と、今後も制度は存続するのか。

国貞産業建設課長 平成17、21年度に協定した集落で農業振興地域の農用地を外れた分に交付した金額を国、県に返還する。制度は継続予定だ。

非常時の燃料供給

武智 災害対応型給油所整備補助金25万円の内容は。

片岡総務課長 ガソリンスタンドが災害を受けると燃料供給ができなくなる恐れがあるので、非常用発電機などを備えるため、秋本石油へ補助する。

国が6分の3、県と町、事業所が6分の1を負担。



非常時の移動手段に欠かせない

今号の表紙



恒例の「ぴったりロードレース」が1月19日に開催されました。

小学生以上を対象に3キロと5キロの2種目で、スタート前の予想タイムと実際に走ったタイム差の少ない順番に上位入賞となります。

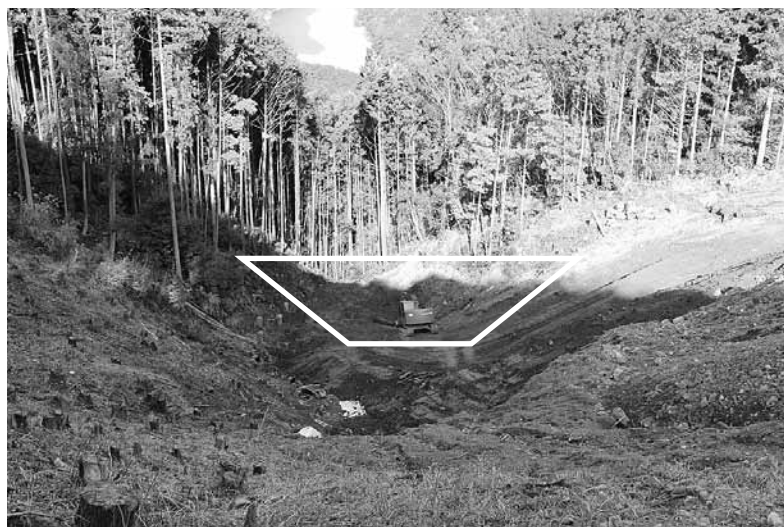
新春の快晴の空の下、134人が気持ちのいい汗をかきました。

横倉山残土場 土留め擁壁は国が施工

高橋 横倉残土処理場土留め擁壁設置工事の内容と残土処理終了後の道路補修等の確約はできたのか。

国貞産業建設課長 工事は国交省が行う。残土処理場の下に土留め擁壁を設置して残土する。

国交省から越知道路の残土処理場の幹線依頼を受け、工事車両の通行で林道が損傷した場合の補修と、運搬には一般交通に迷惑をかけることのない条件で、12月6日付けで同意した。



土留め擁壁が施工される残土処理場(イメージ)

戸籍の副本を遠くで保管

山橋 企画振興費の12万6000円の手数料は何か。

片岡総務課長 戸籍の正本は役場に、副本は法務局に置いてあるが、地震のような大災害で役場も法務局も被災して、正・副両方が使えなくなった場合、戸籍を再製するために、北海道などの遠く離れた地区で副本を保管する作業を依頼する。

光熱水費の補正額が大きい

斎藤 教育費で光熱水費の補正が大きい。特に小学校費は23万8000円と、12月補正にしてはかなりの多額だが、内容を聞く。

高橋教育次長 電気料の値上がりと小学校の屋外のトイレの漏水が原因と思う。

意見書

12月定例会では2件を可決し、関係機関に提出しました。

TPP交渉撤退を

提出者 片岡久一郎議員
過疎や高齢化など、独自の課題を抱える本県は、産業振興計画などの県勢浮揚に取り組んでいる。

しかし、関税撤廃が大原則のTPP交渉は、こういった努力を打ち砕き、甚大な痛みを強いる極めて危険な自由貿易協定であり、直ちに撤退することを要望する。

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

待機児童の解消と保育の場を



不安なく元気に育てられる制度を

提出者 西川晃議員
子ども・子育て新制度導入は、関係者からの意見聴取や十分な議論と不安や疑問を払しょくした上で、周知徹底が必要である。

全体像がはっきりしない制度を性急に導入することなく、待機児童の解消や保育の場の確保等を図った上で、保育制度の拡充を図るよう要望する。

《賛成・全員》

林道桐見川白石川線等 管理組合の解散

組合の解散

昭和45年度に森林資源の開発と地域の発展を目的に、越知町と仁淀川町を結ぶ幹線林道と支線林道の整備を進めてきたが、整備完了により、平成26年3月31日で解散する。

(賛成・全員)

規約の一部変更

解散による事務の公用文書は越知町が継承し、決算審査、認定の事務は越知町が行う。
歳計現金は越知町と仁淀川町が等分する。

(賛成・全員)

財産の処分

解散による越知町分の林道は越知町に、仁淀川町分の林道は仁淀川町に帰属する。

【仁淀川町分】

・林道桐見川白石川線

延長7353m

・林道立ヶ谷線

延長1160m

・林道シバゴヤ線

延長1452m

【越知町分】

・林道桐見川白石川線

延長3846m

(賛成・全員)



町管理となる林道桐見川白石川線(大屋敷地区)

地域の元気臨時交付金を基金化



交付金で道路側溝が整備されている

平成24年度にできた地域の元気臨時交付金の事業執行で、25年度事業予算額と交付限度額の差額を基金に積み立てるため条例を制定する。

(賛成・全員)

斎藤 基金の事業執行は1年で使うのか、徐々に使っていくのか。

片岡総務課長 26年度中に使い切る。それ以上は延ばせない基金で、主に町道整備などに使う。

町道の変更

町道3路線に農道を編入し終点位置を変更する。

(賛成・全員)

●町道松坂線

延長2839・8m

●町道松坂線328mを

編入。

●町道石神線

延長461・7m

●町道遊行寺10号線31

6mを編入。

●町道本村中村線

延長2554m

●町道中村線402mを

編入。

●税条例の一部改正

公的年金等に係る個人町民税の特別徴収を、納税義務者が町外に転出しても継続できるようにする。また、仮特別徴収税額の算定方法を見直す。年間の徴収税額を平準化する。

株式の配当所得や譲渡所得の分離課税の改正に伴う必要な規定を整備。

(賛成・全員)

●介護保険と後期高齢者医療の延滞金の引き下げ

介護保険と後期高齢者医療の保険料延滞金の割合を、現在の低金利を踏まえ、被保険者の負担を軽減するために平成26年1月1日から引き下げる。

(賛成・全員)

陳情

宿泊施設の拡充を (要旨)

町外からの観光客が増加しているが、宿泊施設は1事業所のみで、来町者の宿泊は仁淀川町や佐川町、いの町に流れている。

観光客のニーズを満たし、町の活性化につながる既存宿泊施設の整備拡充と新設を陳情する。

《陳情者》加納稔久(代表)、商工会会長 坂本健常、観光協会会長 岡林友一、ニユーシティ33会長 宮脇英生、平家会会長 織田義幸

12月定例会で産業建設常任委員会に審査を付託し、閉会中の継続審査とした。

ズバリ!!

町政を問う

12月定例会では、6人が町政全般について一般質問を行いました。
発言内容は紙面の都合で要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した生の議論を傍聴してください。

なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ
(<http://www.town.ochi.kochi.jp>)をご覧ください。

一般質問

7ページ・寺村晃幸

- ① 町長選挙へ出馬の考えは
防災対策に危機管理官の配置を

8ページ・市原静子

- ① 保育・幼稚園の砂場の衛生管理
肺炎ワクチン助成を75歳以上に
③ 独居高齢者の見守り

9ページ・武智龍

- ① 患者バス一般混乗試行の調査結果
デマンドバス・タクシーの検討を
③ 防災行政無線放送が聞こえない
空き家調査と移住相談

10ページ・斎藤政広

- ① 租税債権管理機構へ職員派遣の効果
集落活動センターを政策の柱に
③ 無料送迎バス試行後は

11ページ・片岡清則

- ① TPP交渉関税撤廃の将来は
アパート経営者に説明を
③ 桐見川・堂林の舗装補修を
④ 林道小日浦線の草刈り

12ページ・山橋正男

- ⑤ 山室地区の道路工事
⑥ 柳瀬川の導水トンネル
① 町営住宅の完成予定は
② カヌー、ラフティングと釣り人
③ 町長交際費の補正
④ コスモスマツリの収支



寺村晃幸 議員

町長選挙

出馬の考えはあるか

若きホープに託す 町長

問 平成10年から4期、さまざまな施策や事業を推進し、住民福祉の向上を図り、県町村会長も歴任するなど、その行政手腕は高く評価されている。次期町長選に出馬する考えはあるか。

吉岡町長

今期限りで引きたいと思っている。
移住・定住策や農業振興、道路整備など、積み残した課題はあるが、次の若きホープに託したい。

防災行政

危機管理官の配置を

配置する考えはない 町長

に、適切な助言ができる危機管理官を配置する考えはないか。

吉岡町長

すぐに配置する考えはない。
県内の市町村では地域防災推進室や危機管理課、防災対策課、総務課などが対処しており、危機管理官を配置していない。
今後の状況を見ながら検討する。



自主防災訓練で救命指導を受ける

問 近い将来予想されている南海トラフ巨大地震や大規模災害に対応するため、避難勧告や避難指示などの判断をするとき

保育・幼稚園

砂場の衛生管理を

26年度から加熱殺菌する

教育長

市原静子 議員



問 保育・幼稚園の砂場の衛生管理はどのようにしているか。
動物のふんや雑菌による感染で、視力障害やアレルギーなどの発症が心配されるため、砂の安全な加熱殺菌処理をする考えはないか。

安全な砂場で元気に楽しく遊ぶ(幼稚園)



山中教育長 現在はネットをかぶせて犬や猫のふん害対策をしている。
平成26年度からは、砂を約30センチ掘り起こして高温バーナーで細菌や寄生虫を殺し、オゾン水の散布による殺菌・脱臭処理、80度の熱水処理など、年4回の作業を実施したい。

肺炎球菌ワクチン

75歳以上にも助成を

26年度から実施 住民課長

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成は70、74歳に限られており、接種は5年に1回のため、75歳以上は助成が受けられない。
元気な高齢者を増やすために75歳以上にも拡大できないか。

岡林住民課長 本年10月から1人1回に限り3000円を助成している。対象者475人のうち、11月末で86人が接種している。
高齢者の肺炎の約3割が肺炎球菌によるものであり、75歳以上にも26年度から実施したい。



健康で笑いが絶えない高齢者対策を

問 認知症発見の遅れ一人暮らしなどの高齢者が認知症や病気になることの発見が遅れている。
安心して暮らせる環境を作るのに、どのように手を差し伸べていくのか。

岡林住民課長 高齢者の一人暮らしや認知症の増加により、地域で見守る重要性がますます高まっている。

見守りネットワークの構築
本町では社会福祉協議会や民生委員との連携、区長の協力、郵便局、JAミニデイなどによるさまざまな見守り活動を展開している。
今後、高齢者の病気発見が遅れないよう、各種連絡会等での情報確認の徹底や医療機関、介護関係事業所、地域包括支援センターの連携によって高齢者を支える見守りネットワークの構築を図っていく。

一般混乗試行の調査結果は

有料でも続けてほしいとの声

総務課長



武智龍 議員

一般混乗の試行で利用者が増えている患者輸送バス

問 10月1日から試行している患者バスへの一般混乗の利用者数と調査結果は。

車を運転できない人やバス停まで行くのが困難な人などの意見や対象地域の世帯数、年齢構成などは把握しているか。



片岡総務課長 10路線を調査し、2カ月間の利用者数が877人。前年と比べて115人増えている。

買い物もできるので助かるのか、多少料金を払ってもよいので続けてほしいなどの意見があった。

1回の乗車人数が少ないことや道路事情により車両の小型化も考えられるが、まだ利用していない人もいたので、調査は3月まで続けたい。

バス停まで行けない人などは福祉タクシーチケットで対応しており、調査の対象にしていない。

防災行政無線

放送が聞こえない

戸別受信機しかない 総務課長

問 防災行政無線の放送が聞き取りにくいのが、緊急時には役立たないのではないか。

戸別受信機があれば放送が伝わる確率はグーンと高くなるが、全戸に設置すれば費用はいくら必要か。

また、放送時に町内不在の人が情報を確認できるシステムはできないか。

片岡総務課長

3月末には6区中町駐車場に屋外子局を増設するので、難聴世帯が減ると期待している。

家の中には戸別受信機でないと対応できないと考えるが、1台約7万円で、全戸設置だと1億8000万円くらいになる。

情報確認は、緊急情報や通常の行政放送などが確認できる電話の対応システムを検討したい。

また、緊急情報を携帯電話やテレビ、ラジオに送信するシステムも検討している。

その他の質問

問 空き家調査の件数と賃貸・売却などの進み具合は。

答 12月9日現在で80件を登録し、貸してよいという物件は3件。

問 移住相談と入居契約の件数は。

答 町民の協力も必要だが、説明しているか。

問 これまで6件の相談を受けている。

9月の区長会で説明し、町ホームページに載せた。

1月から町広報にも載せる。

デマンド方式に
問 9月議会で、いの町や大豊町などの先進地を調査して検討するよう特別委員会が中間報告したが、両町のようなデマンドバスやデマンドタクシーを検討できないか。

吉岡町長

一度制度を作るとすぐにやめられないサービスであり、費用、効果、将来性を考えて検討する。



齋藤政広 議員

租税債権管理機構

職員派遣の効果は

徴収の熱意が育つ 税務課長

問 納税の公平性を保つため、滞納整理は重要な業務だが、租税債権管理機構の運営はいつまで続くのか。

この機構へ各市町から職員を派遣しているが、派遣職員数に偏りはないか。また、派遣による効

果はあったか。
ここ数年の滞納整理状況はどのようになっているか。

片岡税務課長

土佐市が加入することになり、平成30年度まで続ける。

職員は、平成16年度から8年間で5人派遣しており、人数には多少の偏りがある。今後の5年間は2人を派遣する予定だ。効果は、徴収率の向上や差し押さえができるようになり、この10年間で565件、1200万円以上を差し押さえた。徴収に熱い心を持つ職員が育っている。町税全体の徴収率は、95%程度で推移しており、滞納繰越額は6000万円ほどだったものが、24年度末には2400万円と大幅に減少している。

集落活動センター

政策の柱として取り組み

早急には考えていない 町長

問 注目されている「集落活動センター」の内容と県内での設置状況は。

また、設置した地区はどのような取り組みをしているのか。
町づくりの政策の柱として取り組む考えはないか。

吉岡町長

早急には考えていないが、先進地の内容も聞いて、今より伸びるものなら進めたい。

小田企画課長

集落活動センターは、休校校舎や集会所などを拠点に、住民が主役となり、地域おこし協力隊員や集落支援

員などの地域外人材を活用しながら、生活・福祉・産業・防災などの地域の課題やニーズにに応じて、地域ぐるみで取り組み、県の補助金がある。

県内には11カ所あり、開所前から活動していた地区や廃業したガソリンスタンドの経営など、生活に直結した取り組みをしている地区がある。本町では職員が研修会参加や事例研究などを行っている。



平成24年12月にできた仁淀川町長者地区の集落活動センター「だんだんの里」。

農家レストランの経営をはじめ、キャンドルナイト、七夕祭り、ショウワ祭りなどの季節ごとのイベントにも取り組み、地域の活性化を目指す活動拠点となっている。

無料バス試行後は

問 無料送迎バスは3月29日までのお試し運行だが、4月からはどうするのか。

今後、運転手の確保や車両の大きさ、料金をどうするかなどを早く決めるべきではないか。

4月からも続ける

片岡総務課長

役場内の公共交通検討委員会で協議しており、4月からも続ける方向で考えている。車両は15人乗り程度のものにしたい。

ハイヤー業者からは、無料バスの試行には大きい影響はないと聞いている。また、今後の業者の存続などの意見もあり、バスの運転業務なども検討している。

先延ばしせず対処

吉岡町長

喫緊の課題としており、先延ばしすることなく対処する。

関税撤廃の将来は

野菜切り替えで負の連鎖

産業建設課長



良質の野菜への励み



片岡清則 議員

問 TPP交渉で米の関税がなくなれば、米作りは規模を拡大して1人で約200ヘクタール作らなければ採算が取れないと聞く。

本町の水田は約400ヘクタールと思うが、わずか1人か2人で作らなければいけなくなる。本町の農業は将来どうなるのか。

国産産業建設課長 関税撤廃をした場合、高知県の米の産出額は125億円から55億に減少すると試算されている。

野菜類は関税率が低い。ため試算から除外されており、野菜などへ切り替える農家が増え、生産が増えると値崩れを起こして負の連鎖が生じること心配している。

生産組合の一本化

問 山椒の生産組合が二つあるが、町が両方の言い分を聞いて、一緒にやって取り組めないか。

難しい

国産産業建設課長 一本化は過去の経緯もあり、町が仲に立つのは難しい。

町営住宅建設

アパート経営者に説明を

しないと何度も言っている 町長

があり、価格や入居希望者の意向に沿うかどうかの問題が根幹にある。

募集は26年12月

小田企画課長 平成26年12月ごろから募集する。

できるだけ町外、県外から募集したいので、期間を長く取りたい。

桐見川く堂林の舗装補修を

問 桐見川から堂林間の道路は舗装補修をして4、5日経てばまた同じ所が傷むが、恒久的な対策を講ずるべきだ。



路面の穴ボコは危ない

早期に対応する

国産産業建設課長 舗装補修は発注しており、できる限り早期に対応する。

恒久的な対策は、次年度以降町道になれば、補助制度などで検討する。

その他の質問

問 林道小日浦線の草刈りを早くできないか。

答 管理委託している業者に至急着手するよう指示している。

問 山室地区の町道ヒソガ峠線と北平線の改良工事はできないか。

答 ヒソガ峠線は用地の契約が完了すれば工事を発注する。北平線はヒソガ峠線の完成後になる。

問 柳瀬川の導水トンネルは。
答 話は進んでいない。



山橋正男 議員

3区町営住宅

完成予定は

平成27年2月予定 企画課長



造成工事が始まった3区林屋敷団地

問 3区町営住宅の完成が26年12月は間違いはないか。また、進入路と造成工事は始まったか。
大型公共事業が不落続きの報道があるが、影響はないか。また、消費税が4月から8%になるが、契約はどうなる。

小田企画課長 県への許可申請の手続きに手間取ったため、完成は27年2月の予定になる。
造成工事は始まっており、本体工事は2月に発注する。
不落の件は心配している。2月ごろの県内は大

丈夫との情報を得ている。
消費税は10月からの契約で完成が4月以降になるものは8%になる。

入居問い合わせは

問 町内外から入居の問い合わせはあるか。

18〜20件

吉岡町長 18〜20件あ

っている。仁淀川町や日高村、佐川町、高知市、須崎市などで、東京からもあった。

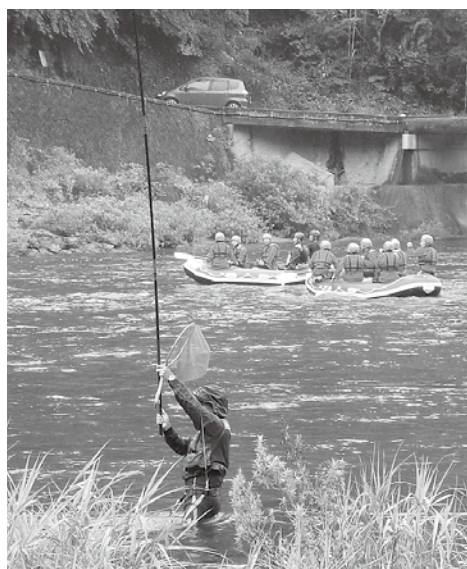
小田企画課長 企画課に

は6件あった。
造成が始まって、2組の若い夫婦が見学に来たとの情報もある。

カヌー・ラフティング

釣り人とのトラブル

大きい問題はない 企画課長



マナーを守って楽しもう

問 仁淀川を生かした体験型観光であるカヌー、ラフティングの成果と収支、シーズンオフの管理はどうなっている。
釣り人などのトラブルは起きていないか。

小田企画課長 観光協会の資料によると24年度の収入は約368万円。支出は約242万円となっている。
利用者は24年度が2352人。25年度は2887人で、県内が19%、県外が81%である。
保管は明治中学校で適正に管理している。
トラブルはあったが、直ちに話をして解決している。
漁協やアユの鑑札を扱う商店には事業説明をし、インストラクターにも心掛けさせており、大きい問題は起きていない。

町長交際費の補正

問 町長交際費を20万円補正しているが、全部使い切ったのか。
毎年不用額が出ているが、年度別の不用額はいくらか。

3月までの必要額

片岡総務課長 本年度の町長交際費は8万5000円で、12月10日時点の残りは29000円となっており、前年度の3月までと比べて必要な分を計上した。
不用額は23年度が約4万円。24年度が4万8000円である。

その他の質問

問 コスモスまじりの収支は。
答 雨天が多く、来客が減り事業収入も減った。

あれはどうなっちゅうが？



運搬車への積み込みが楽になった



改善されたごみ袋

指定ごみ袋をレジ袋のように

市原静子議員（平成24年3月） 指定ごみ袋に取っ手がない。不燃ごみの袋は結ぶところもないが、量販店などのレジ袋のように改善できないか。

広域事務組合に提案する

環境水道課長 広域町村事務組合の協議の場で提案する。ただし、改善は在庫分がなくなってからになる。

処理状況

取っ手が付いて 持ち運びが楽になった

平成25年8月ごろから取っ手のある指定ごみ袋が販売されるようになった。

ごみの収集場所までの持ち運びが楽になり、運搬業者も作業がしやすくなっている。

一般会計補正予算
救急デジタル無線整備事業の委託料、工事請負費など。

し尿処理手数料引き上げ
4月1日から消費税が8%になるため、基本料金180リットル以下は1320円を1360円に、180リットルを超えると90リットル増すごとの金額660円を680円とする。

平成25年度12月補正予算

区分	補正額	総額
一般会計	4億7786万円	14億1413万円
特別会計	特別養護老人ホーム	802万円 12億5911万円
	養護老人ホーム	47万円 1億1828万円
	障害者支援施設	295万円 1億6314万円



定例会（11月27日）

臨時会 11月15日

●損害賠償2件を承認

公用車が一般車両へ衝突したための車両修理費の賠償金で、23万5500円と9万円の2件。
（賛成・全員）

●大桐分団に消防車購入

西浦に配備している大桐分団の消防車を買替える。
契約金額786万2020円
（賛成・全員）

（賛成・全員）

議会です
こんにちは

心和む かご作り

「あつたがふれあいセンター」

参加者の皆さん(右から6人目が古味文子さん)



保健福祉センターの「あつたがふれあいセンター」で行っている『荷造りひもの籠作り』にお邪魔しました。
民生委員の古味文子さんが配食サービスで弁当入れにしていた籠を、ほかの委員に作ってあげたことがきっかけで、センターの活動に取り入れ、古味さんの手ほどきで3年くらい前から始めたとのこと

す。
段ボール箱などを縛る薄くて固いビニールひもは、編むのに力もいるし、手も荒れるようですが、完成品は非常に軽くて丈夫、色もカラフルで、エコバッグなどにも使える大変実用的なもので、福祉大会などのバザーに出品して販売もしているようです。



底の部分からスタート



器用な手さばきに見入る



作る人の個性で
色や大きさもさまざま



古味さんは「持ち手の作り方が難しいが、今はみんな上手になって教える必要がなくなった」と喜んでいました。
町内外から「社協だより」などで活動を知った人たちが集まり、「みんなと一緒に作るのが楽しい」、「技術も上がり喜んでやっている」と述べられ、皆さんが和やかな雰囲気の中で楽しんでいました。

また、参加者からは「屋外活動もしたいが、町民会館は遠いので、福祉センターや役場の近くでゲートボールなどができる場所が見もいただきました。」

編集後記

住民の足である地域公共交通のあり方を検討する特別委員会が、先進町の取り組みを視察した。

その後9月定例会で「いの町や大豊町のデマンド型乗り合いタクシーの導入は大変参考になり、本町での可能性を検討し、山間地域の交通弱者対策の充実を図るよう研究を進めてもらいたい。」との報告を行った。

12月定例会での地域交通に関する一般質問では、4月からも患者バスの一般混乗を続けるような答弁しがなく、根本的な交通弱者対策の実現には、まだ何年かかるように思えた。

ますます高齢者が多くなる今、行政もスピード感が必要ではないだろうか。《高橋》

議会を傍聴しませんか

12月定例会の傍聴者は延べ9人でした。次の定例会は3月です。大勢の傍聴をお待ちしています。

編集・発行責任者

議長 岡林幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林 学

副委員長 斎藤 政広

委員 武智 龍

委員 高橋 丈一

委員 市原 静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。